

●採択枠・採択事業名：独立行政法人・国際協力機構 技術協力プロジェクト「教員養成大学設立のための基盤構築プロジェクト」
 ●連携・協力機関：カンボジア王国教育・青年・スポーツ省教員養成局、プノンペン教員養成大学、バタンバン教員養成大学、奈良教育大学、株式会社パデコ、インテムコンサルティング株式会社

04 カンボジアの教員養成大学設立のための基盤構築プロジェクト (E-TEC)

(第1次：2017年7月～2019年5月)



1. Background —プロジェクトの目的・経緯・背景

なぜ教員養成大学 (TEC) が必要なのか？

▶紛争後の教員の質を確保するため

カンボジア王国は1980年代以降の紛争復興期に、大幅な教員不足に対応するため12+2年制の教員養成カリキュラムを組んだ。しかし、未だ教員の質の確保が課題であった。そこで、現在カンボジア教育省は教員養成大学(TEC)を設立し、2020年までに大学化(12+4制へ移行)することを目標として掲げている。

どんなプロジェクトなのか？

▶カンボジアの教員養成大学(TEC)の設立支援

目的：首都プノンペン、第二都市バタンバンでの基礎教育の向上

期間：2017年1月～2022年12月

主催：独立行政法人・国際協力機構 (JICA)

専門家として EVRI が協力

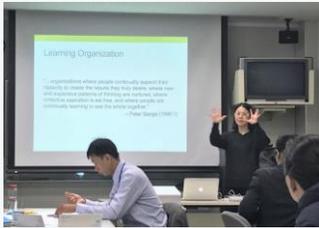
教育学研究の拠点である広島大学の培ってきた知見を活かし、教員養成大学の設立・経営・評価に関する一体的な支援を目指す

2. Activities —活動

研修① TECの運営方針や質保証について

本邦研修

H29
11/27
1
12/22



【講義】

- ・教員養成の歴史や教員養成大学について
- ・内部質保証
- ・広島大学独自の取り組みなど



【ワークショップ】

模造紙を使ったグループディスカッション

▶TECの経営戦略、内部質保障ガイドライン、TEC教員評価規準の原案作成

研修② TECの教員評価・学生評価について

H30
3/5
1
3/7



【講義】

- ・評価の目的
- ・高等教育の世界的な潮流
- ・評価の重要性など



【ワークショップ】

評価の観点や方法、基準や指標の設定について議論

▶教員の評価基準に関する文書の作成が開始、学生の評価基準に関する到達目標・基準を列挙

研修③ TECの定期的な観察・評価 (モニタリング) について

現地研修

3/13
1
3/15



【講義】

モニタリングの意味や目的について



【ワークショップ】

ガイドライン項目の検討、たたき台となる素案の作成。

▶TECプログラムモニタリングガイドラインの素案を開発

研修④ アクション・リサーチ手法について

9/2-4
・
10/1-3



【講義】

アクション・リサーチの内容や計画作成、職能開発計画について



【ワークショップ】

・リサーチの基礎知識の習得とグループごとの研究計画の素案作成
・仮説の立て方や問題設定の習得と年間計画の作成

▶アクション・リサーチの知識習得と計画作成

H30.11

カンボジアの教員養成大学(TEC)開学

3. Outputs —成果

EVRIメンバーが関わった本邦や現地での講義やワークショップを通して、TECの運営・評価体制の構築、所属教員の能力向上を検討することができ、質の高い教員養成システムの構築に寄与することができた。

